



コミュニティぬまづ第一

沼津市第一地区コミュニティ推進委員会広報紙 第15号 平成12年10月1日発行

「第三十八回 第一地区体育祭」開催される

少子化・八チームでの大会

今年も優勝は真砂町

「第三十八回第一地区体育祭」

は好天に恵まれた九月三日、第一小学校グラウンドで開催されました。前日の雨で絶好のグラウンドとなり、実行委員や運営委員の協力で、各町内からの若男女が各競技に楽しみながら心地よい汗を流した一日でした。また、小中学生も運営に参加地域の一員としての役割を果たしてくれました。



今年は少子化のため子供の揃わない4町内が2つの合同チームとなり、8チームによる大会となりました。

町内対抗の結果は、真砂町が四年連続で優勝。同得点が4チームとなる混戦の大会でした。学校を取り巻く環境や地域性

これこそ正にコミュニティの姿

年代を越え玉入れの玉作り今年度の体育祭を開催するに当たり、昨年まで開北小学校から借用していた玉入れの玉を実行委員会として作ることにしました。

八月十五日、二十二日の一週間、老人部の皆さんを中心に、小中学生から最高齢八十七歳の方まで、延べ約百人の方の協力により、六色のカラフルな玉が見事に出来上がりました。

楽しい雰囲気の中、年代を越えてみんなで力を合わせ、地域のために、一つのことに取

を考慮し、大会の運営を見直す時期に来たのではないかと痛感した大会でもありました。

順位	町名	得点
優勝	真砂町	22
準優勝	砂子町	16
三位	丸銀町	14
四位	本添町	14
五位	白上町	14
六位	連広町	14
七位	末手町	13
八位	大西条	11

☆敢闘賞・上本・添地・連合



り組む姿を見て、これこそ正にコミュニティかなと感じた一週間でした。

〔塩沢 直美〕
〔関連記事を2面に掲載〕

体育祭を終わって

実行委員長 古地 利和

残暑厳しい秋空のもと、地域の皆様のふれあいの場として、第三十八回第一地区体育祭が、盛大に開催できましたことは、関係各位のご尽力のおかげと心より感謝申し上げます。

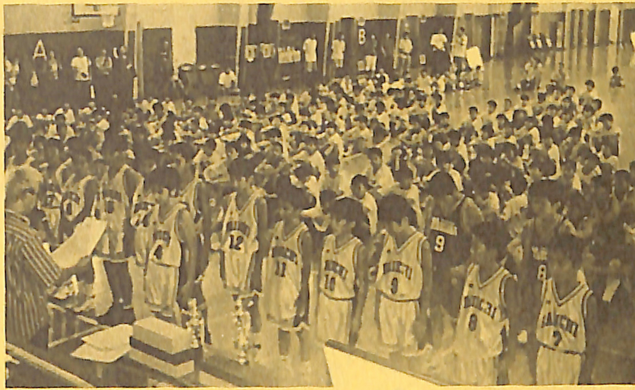
今回は、自治会長様のご理解をいただき、少子化による八チーム編成の実施と玉入れ用具一式を揃えることができました。特に、コミュニティの皆様のご協力により、七百二十個の玉入れの玉を一週間足らずで作り上げましたことに賞賛の拍手を送りたいと思います。

反省点は多々あると思いますが、第一地区の多くの人たちが仲良く楽しめる体育祭の企画を今後の課題と致したいと思っております。皆様のご協力のもと、何とか無事、責任を果たすことができ安堵いたしております。

沼津第一ミニバスケットボール団男子部

「がんばっています」

只今、沼一ミニバス団男子部は、秋の県大会、東海大会を目指してもう練習中です。戦績も好調で、先の沼津市一位に続いて、県大会準優勝、暁秀カップ優勝、さらに清水市で開かれた有度一招待試合では、全国レベルの力を持つ現在県一位の舞阪小を一ゴール差で破り見事優勝と、大変目ざましいものがあります。



コーチ陣も燃えています。今の課題は、選手一人ひとりが、もっと気持ちを強く持って、好不調の波を乗り切れるようにする事」とのこと。地域の皆様の一層の応援をこれからよろしく願います。
(増田 幹夫)



平成12年度第一地区コミュニティ祭

・日時 平成12年11月12日(日)
9:00~15:30

・場所
《展示の部》第一地区センター
1~5会議室
書、絵画、写真、生け花、手芸等
《芸能の部》第一小学校体育館
楽器演奏、合唱、日舞、奇術等
《アトラクションの部》第一小学校体育館
「輪投げでポン!!」
《模擬店・販売の部》
第一地区センター
玄関前駐車場

詳細は10月15日発行のチラシを読んでいただき、作品出展や参加申込みをして下さい。

(コミュニティ祭実行委員会)

真砂町展示コミュニティ祭

七月二十日(木)から七月二十二日(土)まで真砂町公会堂で展示コミュニティ祭を開催しました。初めての試みでしたが、三十二名の方から約百点の作品を出展して頂きました。

来場者も約百三十名あり、皆さんに作品を鑑賞していただいたり、お茶を召し上がったりして頂いて、いい行事になりました。



日枝神社例大祭



玉づくり奉仕に参加して

高木きよ江

老人部の方々にもお手伝いをお願い出来たらとお話があり老連の女性部長さんを通して伺いたところ、気持ちよく引き受けて下さる事となり、奉仕日もすんなりと申し出て頂きました。コミュニティの輪に加わる事の意義がよく理解されての事と嬉しく思いました。

色とりどりの布と、古いストッキングを利用したというソバガラ(蕎麦)の詰め物も用意されてありました。準備された役員の皆様方のご苦勞に感謝しながら、一つ一つ山に積み上げていきました。ささやかな手仕事ではありましたが、大勢の方々の力は貴いものです。体育祭当日、六色の玉が青空に飛んで、競う子供たちの姿をほほえましく和やかに見せていただきました。

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
ミレニアム赤ちゃん

こんにちは

地域の次世代を担う子供の誕生を

「コミュニティのみんなでお祝いし

ましょう」。

各専門部長からひとこと

青少年育成部 酒井 明

我が部は、青少年を健全に育成するための推進役として積極的な役割を担っています。第一地区では、コミの一員として、成人式の企画・運営納涼祭、体育祭、コミ祭等に推進委員と青少年のボランティア

社会福祉部 井口 八千喜

ある日、新聞の「起きたきり老人」というタイトルが目が止まり、その記事をなにげなく読んでいました。読んでいて初めて私のタイトルの早合点に気づきました。私はもっぱら「寝たきり老人」と思

イアや関係団体と一緒に活動しています。

青少年の行動の多様化や少子化により、独自の行事が組めないでいますが、地区の行事やわたしの主張、子供の遊び王国、新成人議会等全市の行事に協力することで活動を一歩づつ積み重ねています。また、推進員の例会が月一回、研修会が全市と地区で年一回つつ行われています。

くはありません。一人ひとりが、まず目標をもって一人でも多くの人が「起きたきり老人」になれるよう頑張りますよう。

交通安全部 横山 昭

毎日のように、車の事故のニュースを聞くと、事故にあった人の家族を思い本当に胸が痛みます。私達は警察の交通安全課と協力し、交通事故が少なくなるよう安全を守るための活動をしております。

環境美化指導部 白壁 稔

平成八年度に制定された「ノーポイ条例」が五年目になりました。タバコや空カンのポイ捨て、犬糞の処理など環境美化を推進して来ましたが、多少良くなった程度で、市民の意識が変わりません。特に第一小学校の南側の道に犬糞が散歩の度に何箇所もあるのは残念なことです。

各自自治会より選出された二人の役員は年四回の全国交通安全週間が告示されますと、交通安全を啓発する黄色い旗やポスター看板を立てるなど運転する人に注意を促しております。自分自身も、日常運転には、細心の注意をします。



環境美化は一人ひとりの意識が大切です。これから環境美化を推進していく決意です。ご協力をよろしくお願いします。



総務部 牧村 義明

総務部はコミ活動の潤滑油として、年間事業の企画・調整、及びコミ活動を広く皆様にお伝えするため広報紙「コミュニティ第一」を年4回発行しております。

第一地区コミュニティ推進委員会が発足し、今年で4年目になりますが、関係者のご努力により毎年活動が盛んになってきております。

私は、二年目となりますが昨年の経験を踏まえ、より多くの人が集える事業をおこなって行きたいと思っております。部員一同と共に頑張りますので、よろしく願いたします。

防災指導部 鈴木 慈雄

『自らの命は 自らで守る 自らの地域は 皆で守る』地域住民が協力し、助け合っ、災害からの被害を最小限に食い止めるーこれが防災の基本です。いざという時、適切な応急活動を行うには、日頃の防災訓練参加による知識の習得が大切です。

これから行われる各種の防災訓練には、積極的な参加とご協力をお願いします。

地区センター休館日

10月2.	9.10.16.23.30
11月4.	6.13.20.24.27
12月4.	11.18.24.25.29.30.31

お気軽にご来場ください

☎63-5088

◎お詫びと訂正

前号で、第一小学校長の氏名を鈴木昌宇と記載しましたが、正しくは鈴木昌宙です。お詫びし、訂正致します。